

## 2012 まつばら仁後援会 納涼の夕べ 国務大臣・国政報告会のご案内

松原仁大臣の56歳の誕生日でもある7月31日に大井町駅前のきゅりあん7階イベントホールにて、当後援会主催による恒例の国政報告会および納涼会を開催いたします。

冷たい生ビール等のお飲み物や軽食等のご用意をさせていただきます【参加費3,000円】。

夏のひととき、生ビール片手に国のこと、地域のことなど語り合ひましょう。詳細は別紙ご案内状をご覧ください。まつばら仁後援会に入会手続きのお済みでない方はこの機会にご入会の手続きをお願いいたします【後援会年会費500円】。

## 後援会員拡大・ボランティアスタッフ登録・カンパ(個人献金)にご協力を

「まつばら仁後援会」では新規会員を募集しています。また、ボランティアスタッフの登録も随時行っています。さらに、活動を資金面でサポートして下さる方からのカンパ(個人献金)にも期待を寄せています。まつばら仁後援会への個人献金は寄付金控除の対象となります。(年会費および各種参加費は控除の対象となり

ません。)ご支援くださる方は、たいへんお手数ですが同封払込用紙にてゆうちょ銀行からお振り込みをお願いします。また新規ご入会、国会見学希望の方も、まずはお電話にてお気軽にお問い合わせください。

受付電話 03-5783-2008

## 政治活動用ポスターの掲示、広報板の設置にご協力を

「まつばら仁」の新しい政治活動用ポスター(A1判 840mm×594mm)の掲示に是非ともご協力ください。東京3区の選挙区内の屋外の目に付きやすい場所を多数探しております。選挙区内にご自宅、事業施設等お持ちの方には特にお願いいたしたく存じます。あわせてポスター等を掲示する党広報板を設置させていただける

場所を探しておりますのでこちらの御協力もお願いいたします。広報板は大小2種類(大900mm×900mm、小1000mm×650mm)ありますので、設置場所に応じてサイズを選択できます。お電話いただければ見本をもってスタッフが伺います。

## まつばら仁を応援して下さる東京都第3区内にお住まいの友人・知人をご紹介下さい!

**衆議院東京都第3選挙区** 品川区全域/大田区の北西部(北千東・南千東・田園調布・田園調布本町・田園調布南・千鳥・鶴の木・北嶺町・西嶺町・東嶺町・久が原・南久が原・東雪谷・南雪谷・雪谷大塚町・石川町・仲池上・上池台)/伊豆諸島(大島町・利島村・新島村・神津島村・三宅村・御蔵島村・八丈町・青ヶ島村)/小笠原諸島(小笠原村)

同封のご紹介名簿にご記入の上ご返送ください。個人情報の管理には万全を期しております。

1956年7月31日 東京都生まれ(55歳)  
1981年3月 早稲田大学商学部卒業  
1981年4月 松下政経塾入塾  
1989年~1996年 東京都議会議員(2期)  
2000年~ 衆議院議員(現在4期目)  
2011年9月 国土交通副大臣  
2012年1月 国務大臣国家公安委員長  
内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)  
拉致問題担当  
2012年6月 国務大臣に再任される(平成24年6月10日現在)

衆議院議員  
**松原 仁**  
略歴



### まつばら仁後援会

〒140-0011 東京都品川区東大井5-17-4 高山ビル4階

電話: 03-5783-2008 FAX: 03-5783-2525 電子メール: info@jin-m.com

まつばら仁公式サイト <http://www.jin-m.com>



#### ハイライト

野田改造内閣で大臣就任しました。

国家公安委員長として警察を指揮・監督

拉致問題担当大臣として北朝鮮に対応

消費者問題及び食品安全に取り組む

#### この号の内容

●国務大臣に就任・再任しました 1

●拉致担当大臣として●消費者問題担当大臣として 2

●暴力団から国民を守る●東日本大震災の警察対応●大臣就任報告会 3

●各種ご案内●最新プロフィール 4

2012年6月15日

Vol. 3, 第3号

# まつばら仁 ニュースレター

## まつばら仁後援会

## 国務大臣・国家公安委員会委員長に就任・再任

野田内閣は1月13日午前、藤村官房長官が記者会見を開き、内閣の第一次改造を決定しました。松原仁は、警察庁を管理監督する国家公安委員会委員長として、また内閣府特命担当大臣として北朝鮮拉致問題担当、消費者及び食品安全担当に任ぜられました。また同時に公正取引委員会の事務についてもとりおこなうことになりました。皇居での認証式、首相官邸で閣議を終え、内閣府及び警察庁に初登庁しました。

6月4日には、第二次改造を行い、松原仁国務大臣は留任し、引き続き内閣の一員として警察・消費・拉致その他の行政を担当することとなりました。

### ●国家公安委員長就任時のあいさつ

野田総理からは、国民の安全を確保するために治安の確保に全力で取り組むこと、最近のサイバー空間における脅威や悪質・巧妙化する暴力団情勢に的確に対応するため、法整備を含めた新たな治安対策に取り組むこと、東日本大震災の被災地や被災者の安全・安心の確保を図るとともに、大震災の教訓を踏まえた今後の災害対策能力の向上に努めること、国民の健康を守るため関係大臣と密接に連携し、生産から消費まで食の安全・安心を総合的に確保する、そして国民の不安の強い放射性物質からの食の安全・安心の確保に全力を尽くすこと、事業者中心の行政を転換し、消費者や地域の現場の視点を大胆に取り

込むという消費者庁発足当時の理念を踏まえ、消費者の安全・安心を高める消費者行政を強力に推進し、そのために消費者事故等の調査機関を設置する等の法案を国会に提出し、成立を期すこと、国の責任において拉致問題の解決に取り組み、全ての拉致被害者の一刻も早い帰国に向けて全力を尽くすこと、更には公正取引委員会に関する事務を担当させるとの御指示がございました。政府の治安対策の責任者である国家公安委員会委員長という重責を担うことになり、身が引き締まる思いであります。政府の治安対策の責任者である国家公安委員会委員長というこの立場の中で、まず東日本大震災による行方不明者の捜索、被災地における安全・安心を確保するための諸活動等を引き続き推進していく必要があると認識いたしております。併せて、災害及び各種事案に対する危機管理にも万全を期してまいりたいと思います。また、暴力団対策やサイバー空間の脅威への対策が治安対策上重要課題であり、取締りの徹底はもとより、法整備や関係機関、各種業界等と連携した社会全体の取組の強化が必要であると認識をいたしております。総理からの御指示を踏まえ、国民の安全を確保するための各種対策を強力に推進するよう指導してまいります。国民の信頼と期待に応えるべく、国家公安委員会の委員の方々と力を合わせ、諸施策を強力に推進してまいります。

## 離島振興法改正に言及する ～「島じまん2012」に出席



伊豆諸島・小笠原諸島における、豊かな自然環境とそこでの人々のくらしや文化・観光資源・特産品など、これら地域の魅力を広く紹介するため「東京愛らんどフェア」(実行委員長=石野田富弘神津島村長)が5月26～27日に開催され、地元選出衆議院議員として松原仁国務大臣が来賓として招かれました。松原大臣は来年三月で期限の切れる離島振興法の改

正延長に向けて、その改正の一端について説明しました。その改正案は、離島が果たしてきた我が国の領域・排他的経済水域の画定とそこにある様々な資源の確保に多大な貢献をしてきたことを明示し、その役割が十分発揮できる振興策を講ずる国の責務を明記しています。この改正案は、与野党共同の議員立法として今国会で成立させるとの意気込みを語りました。また、以前から取り組んできた離島ガソリン流通コスト支援事業を昨年引き続き実現することが出来ました。今年6月1日からはガソリン1リットルあたり大島・八丈島で10円、利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島で35円、青ヶ島で40円、父島で55円、母島で70円の補助を決定させていただき、これからも島嶼選出国會議員として島に生きる人々の生活を守っていききたいと述べました。

## 拉致解決に積極的に行動する～拉致問題担当大臣として

●2月5日午後、大阪市内のメルパルクホールにおいて、政府拉致問題対策本部、大阪府、大阪府内全市町村による共催で、「拉致問題を考える国民大集会in大阪」が開催。松井一郎大阪府知事、橋本徹大阪市長、飯塚繁雄家族会代表らと参加。なお、当日は、集会に先立ち、松原大臣と松井知事及び橋下市長との意見交換が行われました。●3月7日、ジョン・ルーズ駐日米国大使と会談。松原大臣から、北朝鮮の指導者が変わり環境が大きく変わる可能性があること、拉致問題の解決なくして日朝国交正常化はあり得ない、あらゆる可能性を排除せずに拉致被害者の帰国に取り組むこと、米国をはじめとする関係国と密接に協力していくこと等について発言しました。●4月7日に横浜市で開催された「北朝鮮による拉致・人権問題を考える神奈川県民集会」では、拉致被害者救出の取り組みや北朝鮮国内の人権問題などについて専門家らが講演や意見交換を行いました。松原仁大臣も出席し、

「あらゆる手法を駆使する。そのためには救出運動の盛り上がりが必要だ」と協力を呼びかけております。●4月13日早朝より、松原仁国務大臣は内閣の安全保障会議のメンバーとして北朝鮮ミサイル発射への対応。警備対策本部に入り、首相官邸総理会議室にて安全保障会議に出席。閣議の後、再び警備対策本部へ入り記者会見を行い、警察庁長官より説明を受けました。また午後より衆議院議員として衆議院本会議に出席し、北朝鮮に対する非難決議に賛成したところ、全会一致で可決されました。●4月21日、地元品川区のきゅりあん小ホールにおいて、横田めぐみさんのご両親である横田滋さんご夫妻を励ます「北の海よ歌う会」に出席しました。品川区からは濱野健区長、安倍晋三元首相代理も来賓として出席しました。挨拶の中で松原仁大臣は、一刻も早い拉致問題の解決に向けて全力を尽くすとともに、拉致問題に対する皆さま方の熱い支援に対して深く感謝を述べました。

## 消費者目線の行政に取り組む～消費者問題担当大臣として

●3月6日、さいたま市で行われた関東ブロック「地方消費者グループ・フォーラム」に出席。関東各地で活動する消費者団体、地方自治体担当者等が集い、「もっとつながろう！地域から」をテーマに、活動報告や意見交換しました。●5月14日の「公共料金に関する研究会」において東京電力の家庭用電気料金値上げについて議論。規制部門、家庭用

と個人商店向けの販売電力量は全体の4割を占める一方で、同部門からの利益が9割を占めていることについては丁寧な説明が必要であると指摘しました。

●5月18日の記者会見で、SNSゲームの「コンプリートガチャ(コンプガチャ)」問題は景品表示法に抵触するとして、一連のコンプガチャに関する騒動に対して言及しました。

## 暴力団犯罪から国民生活を守る ～北九州事件現場視察

松原仁国家公安委員長は、4月21日、北九州小倉南区に入り、暴力団によるとみられる企業襲撃や発砲事件が続発している福岡県を訪問しました。19日午前8時20分には福岡県警の元警部が銃撃された現場を視察しました。現場では、警察官が厳重に警備しており、重傷を負った元警部がバイクの男に撃たれた状況などについて、県警の捜査幹部から説明を受けました。

松原大臣は、「銃撃事件が起きない社会へ向け、法整備を含む対策を頑張っていきたい」と決意を語り、必要とあらば全国警察に支援を要請する考えを表明。「事前に抑止できず、じくじたる思いだ。県警が全力で取り組み治安を回復してほしい」と述べました。

福岡県では昨年、全国最多の18件の発砲事件が発生しております。松原仁国務大臣は、

通信傍受の拡大やおとり捜査といった捜査手法の高度化の検討を表明し、その後、近くの公民館で住民と約20分間ほど意見を交わし、北九州市長、福岡市長、福岡県知事より県内の暴力団状況の説明を受けました。知事と両市長は17日に警察庁に赴き、国会に提出された暴対法改正案の早期成立を要請していました。

現在、松原大臣の下に国会に提出している暴対法改正案は、福岡県の指定暴力団を想定し、企業襲撃や抗争を繰り返す組織を「特定危険暴力団」「特定抗争暴力団」に指定するものです。みかじめ料の要求や付きまといは中止命令なしで逮捕を可能としています。今後の警察行政に生かしていくところであります。

## 東日本大震災後の警察対応と被災地視察

2月に入り、大臣就任後初めて宮城、福島の被災地を視察しました。特に福島第一原発事故による立入禁止措置により、未だ多くの方々が自宅に戻れず、避難先で不安な生活を強いられ、また同原発周辺においては瓦礫も被災当時のまま放置されているところなどを念入りに視察しました。

警察においては、松原国家公安委員長のもと、岩手、宮城、福島の3県警察に対し、これまで全国から延べ91万人以上の警察職員を派遣し、被災者の救出救助、行方不明者の捜索、御遺体の収容、検視、交通整理、検

問、パトロール等の各種警察活動に全力で当たってきたところです。

しかしながら、未だ多くの方々が行方不明になっていることを踏まえ、警察としては、引き続き行方不明者の捜索活動に当たるとともに、復旧・復興活動には、その礎となる治安の確保が必要であるとの認識の下、被災3県警察への緊急増員や警備部隊の特別派遣の継続等、全国警察が一枚岩となって、被災地に寄り添いながら、安全安心の確保に万全を期すことを確認しました。

## 大臣就任報告会を開催

2月12日大井町のきゅりあんにて当後援会主催による松原仁衆議院議員の国務大臣就任報告会が開催されました。濱野健品川区長及び松原忠義大田区長も来賓として参加し、党東京都第3区総支部からは、土井洋一総支部長代行・本間隆副総支部長(前品川区議)、神野吉弘幹事長・田中健・柳ヶ瀬裕文両副幹事長による3都議會議員、阿部祐美子・石田慎吾・稲川貴之・向めぐ美・大倉考裕の5品川区議會議員、山崎勝広・岡高志・馬橋靖世の3大田区議會議員ら

も出席しました。さらに会場を埋め尽くす50人以上の後援会員で大いに賑わうなか、松原大臣が力強く決意と抱負を述べました。

## 国務大臣就任報告会

